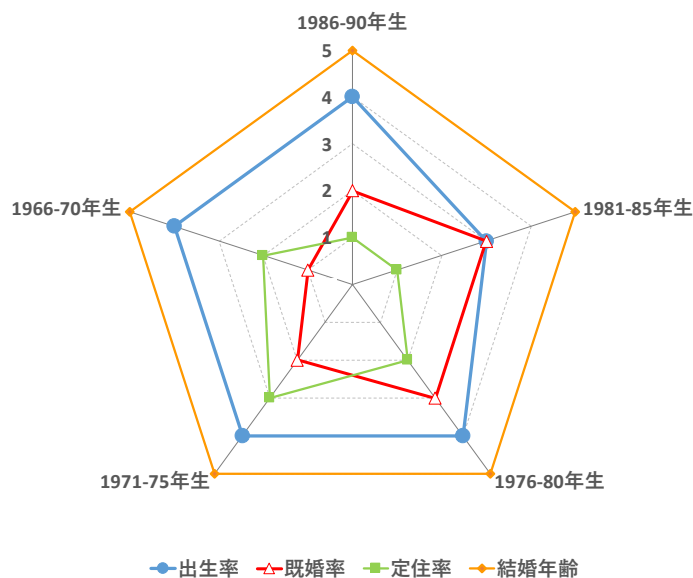


## (18) 魚沼市

### ①出生に関する総合評価

図18-1 コホート別総合評価



注：各コホート別の新潟県30市町村内の順位を5段階で評価している。

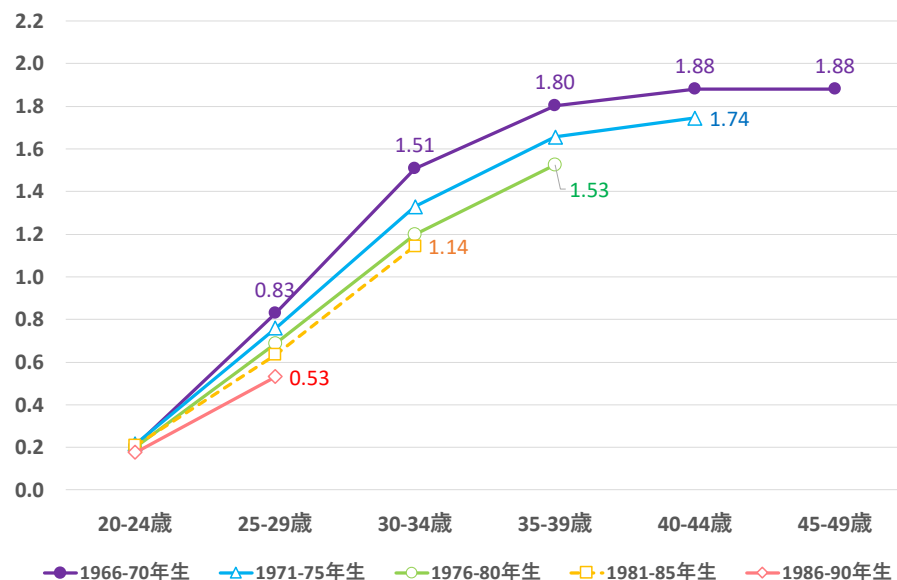
1. 合計出生率は、1981-85年生まれは中位であるが、1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1976-80年生まれ、1986-90年生まれは上位である。
2. 女性既婚率は、1966-70年生まれは最下位、1971-75年生まれと1986-90年生まれは下位、1976-80年生まれと1981-85年生まれは中位である。
3. 女性定住率は、1981-85年生まれと1986-90年生まれは最下位、1966-70年生まれと1976-80年生まれは下位、1971-75年生まれは中位である。
4. 女性結婚年齢は、すべてのコホートで最上位である。

### 【総合評価】

1. 魚沼市では、女性定住率と女性既婚率は全コホートで中位以下であるが、結婚年齢は全コホートで最上位である。合計出生率は1980年代前半生まれが中位である以外は、上位に属している。
2. 1980年代生まれコホートの女性既婚率はそれ以前と比べてさらに低下傾向にあり、特に80年代後半生まれコホートの25-29歳までの女性既婚率と合計出生率がそれ以前のコホートよりも大きく低下している。
3. 子どもが産まれる確率が最も高い25-34歳の出生数は、1970年代後半生まれから1人を下回っており、25-29歳の出生率がさらに低下傾向にあることから、今後1人以上を回復できるかは30歳代でのキャッチアップがどの程度達成できるかに依存する。
4. 25-29歳以降の女性定住率は1980年代生まれのコートで0-4歳時点の50%台であり、これが回復しなければ、人口再生産力のさらなる低下が懸念される。

## ②コホート合計出生率

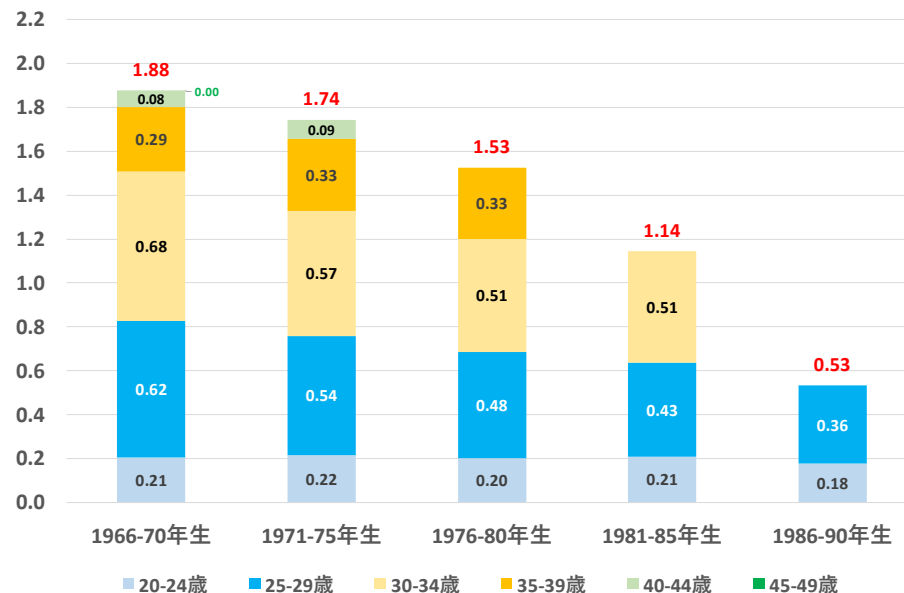
図 18-2 コホート合計出生率の推移



注：新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 18-2 は、魚沼市のコホート合計出生率の推移を示している。
- ・ 県内他市町村と同様に、25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に合計出生率の大幅な低下がみられる。
- ・ 1976-80 年生まれ以降のコホートでは 25-29 歳以降の合計出生率がさらに低下している。

図 18-3 コホート合計出生率の年齢区分別内訳

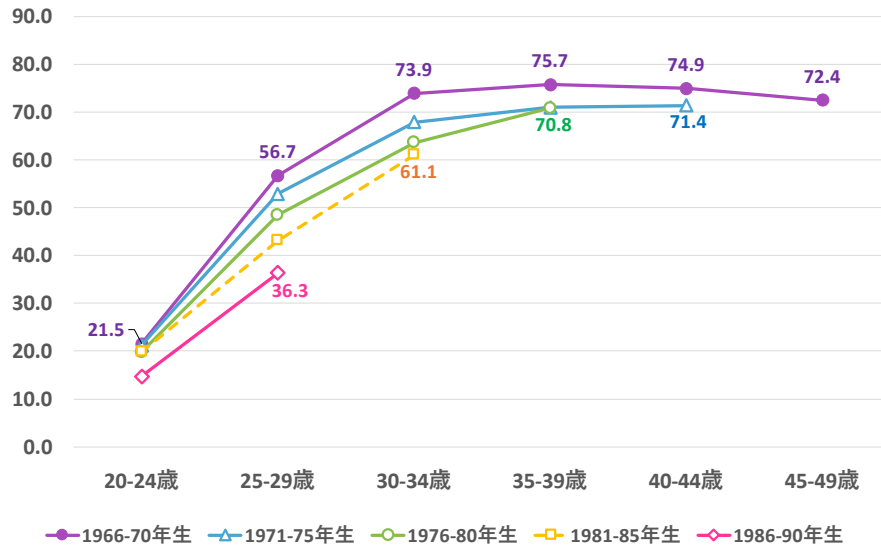


注：新潟県「福祉保健年報」より作成。四捨五入のため内訳の計と合計が一致しない場合がある。

- ・ 図 18-3 は、コホート合計出生率の年齢区分別内訳を示している。
- ・ 20 歳代の出生数は、1966-70 年生まれコホートの 0.83 人に対して、1986-90 年生まれは 0.54 人に大きく減少している。30 歳代では 1966-70 年生まれの 0.97 人に対して、1976-80 年生まれは 0.84 人に低下している。
- ・ 晩婚化のため 20 歳代の出生率が低下しているが、30 歳代でも 1966-70 年生まれから 1 人が生まれておらず、低下傾向が続いている。
- ・ 子どもが産まれる確率が最も高い 25-34 歳の出生数は、1976-80 年生まれから 1 人を下回っており、1981-85 年生まれは 0.94 人に減少した。

### ③コホート別既婚率

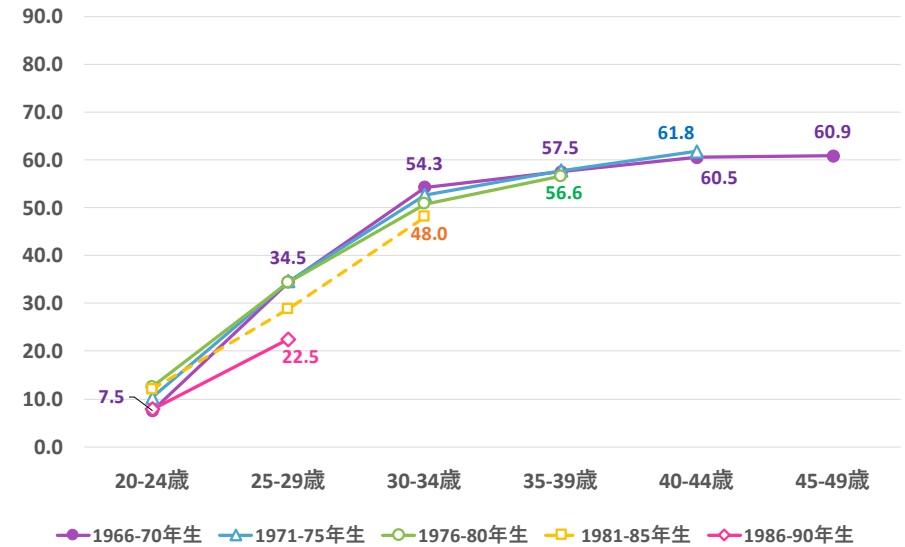
図 18-4 コホート別既婚率の推移(女性) 単位：%



注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 18-4 はコホート別の到達年齢までの女性既婚率の推移を示している。
- ・ 25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に既婚率の大幅な低下がみられる。さらに、1971-75 年生まれとそれ以降のコホート間でも、25-29 歳と 30-34 歳時点の低下がみられる。
- ・ 25-29 歳の既婚率は、1966-70 年生まれの 56.7%から 1986-90 年生まれは 36.3%へと 20.4 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 75.7%から 1976-80 年生まれは 70.8%へと 4.9 ポイント低下している。

図 18-5 コホート別既婚率の推移(男性) 単位：%

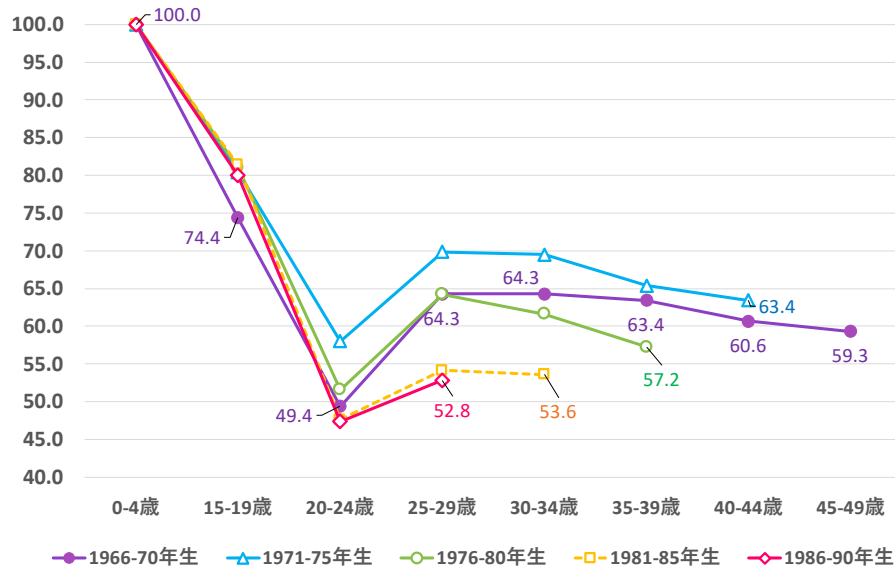


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 18-5 はコホート別の到達年齢までの男性既婚率の推移を示している。
- ・ 男性既婚率も女性同様に最近のコホートほど低下する傾向が確認できるものの、女性既婚率と比較して、コホート間の差が小さい。
- ・ 25-29 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 34.5%から 1986-90 年生まれは 22.5%へと 12.0 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 57.5%から 1976-80 年生まれは 56.6%と 0.9 ポイント低下している。
- ・ 女性既婚率は 40 歳代で 70%前半に達するが、男性は 60%前半に止まり、男性既婚率のほうが低い傾向がある。

#### ④コホート別定住(残存)率

図 18-6 コホート別女性定住率 単位：人口指数

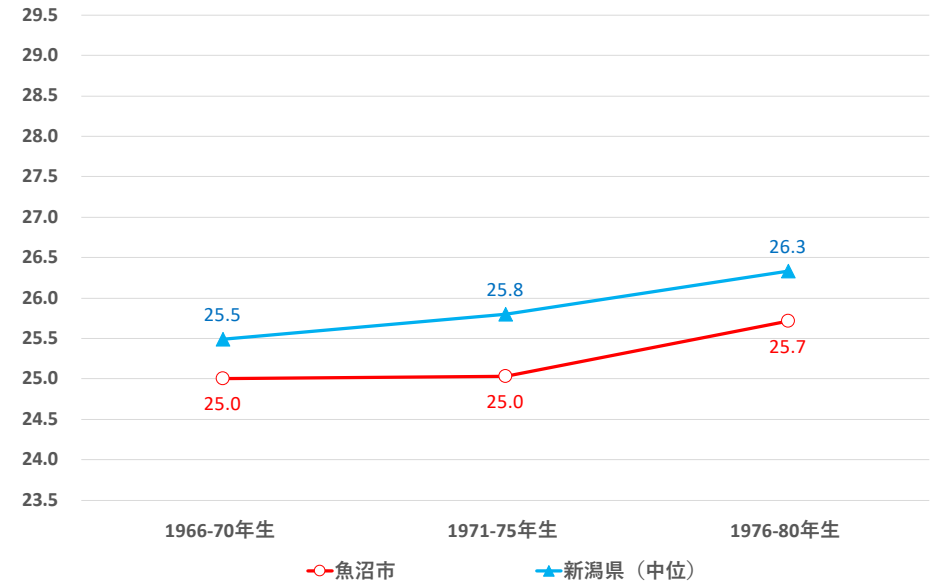


注：0-4歳人口=100。「国勢調査」より作成。

- ・ 図 18-6 はコホート別の到達年齢までの定住率の推移を示している。
- ・ 25-29歳における女性定住率は、1966-70年生まれの64.3から1986-90年生まれは52.8に11.5ポイント減少しており、35-39歳における女性定住率は、1966-70年生まれの63.4から1976-80年生まれは57.2に6.2ポイント減少している。
- ・ 魚沼市では、25-39歳時でみると、1970年代生まれコホートまで0-4歳時点の60%台をおよそ維持してきたが、1980年代生まれ以降は、50%台前半まで減少している。

#### ⑤コホート別女性平均結婚年齢

図 18-7 女性平均結婚年齢 単位：歳

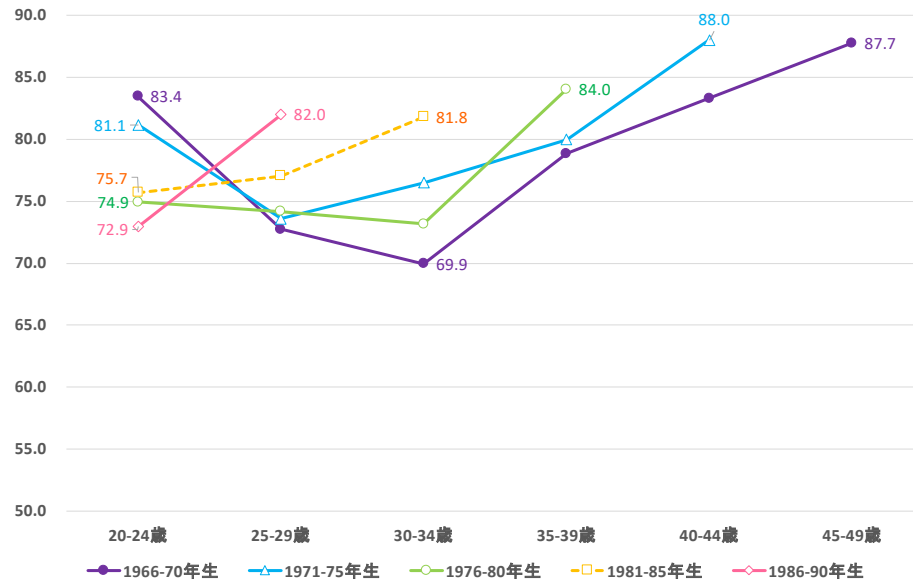


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 18-7 はコホート別の35-39歳までの女性平均結婚年齢を示している。
- ・ 1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1976-80年生まれの35-39歳までの女性平均結婚年齢は、それぞれ25.0歳、25.0歳、25.7歳である。1966-70年生まれと比べて、1976-80年生まれは0.7歳だけ平均結婚年齢が遅れている。
- ・ 1966-70年生まれの県内順位は5位、1971-75年生の県内順位は3位、1976-80年生は5位と平均結婚年齢が県内で最も早い自治体の一つである。

⑥コホート別女性就業率

図 18-8 コホート別女性就業率 単位：%

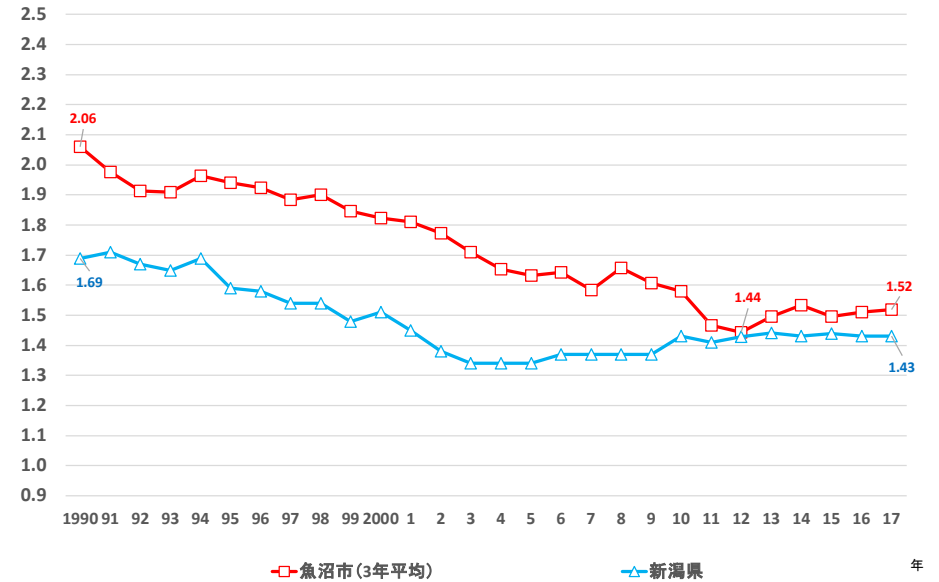


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 18-8 はコホート別の女性就業率の推移を示している。
- ・ 20-24 歳から 25-29 歳までの女性就業率の変化を見ると、1981-85 年生まれと 1986-90 年生まれのコホートは上昇しているのに対し、それ以外のコホートでは低下している。
- ・ 30-34 歳の女性就業率を見ると 1966-70 年生まれは 69.9%であったのに対して、1981-85 年生まれは 81.8%に上昇している。
- ・ 1970 年代生まれまでは M 字カーブが確認されたが、1981-85 年生まれコホートでは 25-29 歳から 30-34 歳時点で M 字の底が確認されない。

⑦期間合計特殊出生率

図 18-9 期間合計特殊出生率の推移



注：市町村の出生率は 3 年間の移動平均値である。新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 18-9 は、1990 年から 2017 年までの新潟県平均と魚沼市（3 年平均）の期間合計特殊出生率の推移を示している。
- ・ 1990 年以降でみると、魚沼市の期間合計特殊出生率は一貫して新潟県平均より高く、期間平均では 0.24 ポイント高い。
- ・ 魚沼市の期間合計特殊出生率は、1990 年の 2.06 から 2012 年の 1.44 まで長期的な低下傾向にあったが、2017 年には 1.52 までわずかに改善している。